

1. 目標	(8) 地域に根ざした新たなビジネスの芽を育みます		
とりまとめG	都市政策部 地域産業G	担当G	都市政策部 地域産業G

2. 目標が達成された姿
◇ コミュニティ・ビジネスに対する理解や関心が高まり、地域課題の解決を図ろうとする市民が自発的に行動しています。
◇ 身近な課題解決につながるきめこまやかなサービスが市民の手により行われ、幸せだと感じる人が増えています。
◇ 市民の手で地域資源が掘り起こされ、まちの魅力が高まっています。

3. 【CHECK】 みんなで目指すまちづくり指標 —目標達成状況—						
目標の達成度を計る指標	計画策定時の値 (2010)	実績値			目標値 (2013)	進捗度評価
		(2011)	(2012)	(2013)		
1) コミュニティ・ビジネスの事業数(試験的運営含む)	0件	0件	0件	2件	2件	
2) まつり、イベントの来場者数(年間)	128,400人	165,000人	136,600人	153,150人	131,000人	

4. 【CHECK】 市民意識調査結果					
設問	計画策定時の値 (2010)	実績値			動向
		(2011)	(2012)	(2013)	
地域に根ざした新たなビジネスの芽を育んでいるまちだと思う	16.2%	19.1%	20.1%	23.7%	

性別	2010 (%)	2011 (%)	2012 (%)	2013 (%)	n
全体	16.2	19.1	20.1	23.7	985
男性	16.2	19.1	20.1	25.0	389
女性	16.2	19.1	20.1	22.1	579
年齢別	16.2	19.1	20.1	23.7	
10歳代	16.2	19.1	20.1	33.3	9
20歳代	16.2	19.1	20.1	28.9	83
30歳代	16.2	19.1	20.1	19.7	152
40歳代	16.2	19.1	20.1	22.6	208
50歳代	16.2	19.1	20.1	16.0	162
60歳代	16.2	19.1	20.1	19.3	186
70歳以上	16.2	19.1	20.1	37.6	181

5. 【CHECK】 「みんなで目指すまちづくり指標」「市民意識調査」結果に対する現状分析(要因・課題等)
◆ コミュニティ・ビジネスの事業数については、セミナーの開催により起業の下地ができており、ビジネスの芽が芽吹きつつある。起業に向けたさまざまな課題はあるが、ビジネスの芽がさらに育まれるよう、支援をしていくことが大切である。
◆ まつり、イベントの来場者数については、B級グルメとして「とりめし」参戦への支援を行ったことにより、新たな観光資源として定着し、その情報を県内外に発信したことや、鬼みちまつりの春・秋開催などにより、大きく伸びている。
◆ 市民意識調査結果については、これらの取組みにより、上昇したものとする。

(前期) 施策評価シート

6. アクションプラン(事務事業)の評価結果(「進捗状況」「効率性」の観点から見た行政による内部評価)

アクションプラン (事務事業名)	評価 結果	活動指標名	実績値 (2013)	目標値 (2013)
		成果指標名		
【No.28】 コミュニティ・ ビジネス創出・支援事業	改善 (効率性)	セミナー、発表会等の開催回数	1回	1回
		コミュニティ・ビジネスの創業事業数	2件	1件
【No.29】 観光推進事業	現行 どおり	観光イベント等の情報発信回数	10回	10回
		観光イベント等への誘客数	153,150人	131,000人

7. 【CHECK】 これまでの主な取組みと成果

【No.28】

(平成 23 年度) コミュニティ・ビジネスについて広く理解・周知を図るため、フォーラムを開催するとともに、先進事例視察(三重県四日市市)を行ったほか、コミュニティ・ビジネス創出セミナー(前期)を全3回開催した。

(平成 24 年度)

◆コミュニティ・ビジネス創出セミナー(後期)を全4回開催するとともに、セミナー受講生に対して、創業に向けての具体的な個別相談を全10回開催し、創業に向け大きく前進した。また、セミナー受講生の事業計画を地域に発信するためのプレゼンテーション及びコミュニティ・ビジネスの新たな芽を発掘する為のアイデアプラン発表会を開催した。

◆コミュニティ・ビジネスの創業等に対する財政支援策を検討し、制度化を図った。

(平成 25 年度)

◆コミュニティ・ビジネスの創業支援制度の運用を開始した。また、先進事例の調査を行った。

【No.29】

◆「春の鬼みちまつり」「タカハマ物語フェスタ」を合同開催し、市内外に「わがまち高浜」を情報発信し、活性化を図った。

◆平成 23 年 9 月に開催された 2011 中日本・東海 B-1 グランプリ in 豊川で県内 2 番目の B 級ご当地グルメとして「とりめし」参戦への支援をし、平成 24 年は北九州市、平成 25 年は豊川市での B-1 グランプリ本戦に参戦し、8 位入賞を果たした。また、三州瓦の PR も併せて行った。

◆地域が主体で行う大山緑地千本桜ライトアップ・人形小路イベント等に対し、PR 等のバックアップを行った。

◆平成 23 年度から、高浜市・刈谷市・知立市・東浦町による衣浦定住自立圏共生ビジョン分野別懇談会(観光分野)において、観光における協力体制を整えるための会合を開催した。

8. 【CHECK】【ACTION】 課題と今後の取組みの方向性

(1) 地域資源をつなぎ、まちの魅力を高める取組み

市民や各種団体及び関係機関と連携し、おもてなしの心を育みながら、「見る」「食べる」「買う」「楽しむ」場としての魅力に磨きをかけ、誘客や消費に結びつくような取組みとして、観光と産業を結び付け、地場産業である三州瓦を高浜の観光と繋げる取組みとして、平成 26 年度は高浜市観光案内所「ONI-House」(オニハウス)において三州瓦の展示・紹介、瓦製品の販売を実施していく。

(2) コミュニティ・ビジネス運営の支援

創業しようとする事業者に対し、継続的に事業運営できるよう、創業支援制度の周知を図るとともに、アドバイスや更なるネットワーク形成などにより、フォローアップを行う。さらに、事業者への「地域ぐるみ」の応援が必要であることから、「地域」「企業」「行政」がそれぞれのセクターの垣根を越えて創業者との連携促進を図る機会を平成 26 年度より設けることで、理念や方向性のマッチングを行う。

9. 【CHECK】 第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果